



各区↓対策本部へ
安否確認と報告訓練



対策本部（市民センター）では、各区からの報告を集計

Welcome to TSUGE

ようこそ

柘植地域へ

柘植地域まちづくり協議会 2017年度製作

11月5日（日）、柘植地域全域（柘植青葉台区を除く※）で防災訓練を開催。統一訓練では、『災害時安否確認マニュアル』に基づいて、各区から柘植地域災害対策本部（柘植地区市民センター）へ「第1報」の報告訓練を行いました。（2面下に続く）※青葉台区は、10/1に実施しました。

11月4日（土）、昨年に続いて、盛大に開催されました。（詳細2面）



280名が、わがまちを走破!
忍者トレイル・ランニング大会

柘植地域 まちづくりだより 第201号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五二九-1402
電話 四五-18880 FAX 四五-18883
発行日 二〇一七(平成)二十九年十一月十五日(水)

10月31日（火）午前、関係者立ち合いの下、契約書取り交わしと2団体への使用許可書授与を行いました。（詳細3面）



旧柘植保育園跡地利活用

市・まち協間で無償貸借契約、2団体に10年間の使用許可

柘植地域俳句コーナー
枝打らの
鈍はね返す
冬木かな
中嶋國博

柘植地域を知ってもらえる貴重なチャンスと捉えて、この大会を盛り上げていきましょう!

大山田さるびの温泉を午前7時にスタートして、45キロの山道を走る忍者トレイルラン。昨年はプレ大会。今年も地元ボランティアが40名近く集結し、コース各所に誘導員として、またエイドステーションでの豚汁づくりやふるまい係ほかの仕事をしました。



1面 中段つづき

今後、柘植地域で行う他の行事でも積極的に利用できればと考えます。

なお、イラストには柘植地域を代表する余野公園のつつじ、俳聖芭蕉、文学の神様・横光利一を配置しました。

※芭蕉のイラスト原画は、藤井駿さん(山出区)に協力していただきました。



全国から参加している選手やスタッフに、「柘植地域を知ってもらおうという効果」もあることから、コース近くにある「道の駅いが」とも協力し、「のぼり(1面参照)」をコースの各所に設置しました。加えて、エイドステーションとなった柘植地区市民センターに設置した横断幕も、柘植地域をしっかりPRしました。

→エイドで選手に豚汁をふるまいました。大好評。



選手誘導の様子

「三重県・伊賀市総合防災訓練」とも連動! 11/5、第12回の柘植地域統一訓練



1面 上段つづき

自主防災実行委員会
 今年、諸行事の日程の都合で「世界つなみデー」である11月5日(日)に県・伊賀市等の総合防災訓練に合わせ、柘植地域でも訓練を実施しました。

当日午前8時、「震度6強以上の直下型地震が発生」を想定。伊賀支所からの一斉放送を合図に、各区・組で安否確認とその集計、次いで災害対策本部への報告までを「統一訓練」として行いました。本部からは、伊賀支所振興課へ情報を伝達、支所はいがまち地域の情報把握を行いました。

この後、「各区計画訓練(区民参加型の訓練)」を行い、柘植地域の防災力向上を図りました。

訓練詳細は12月の実行委員会後にお知らせします。

上の写真は霊峰中学校で三重県と伊賀市が合同で行った様子の写真です。

旧柘植保育園の跡地利活用について

柘植地域まちづくり協議会は、平成29年2月の『旧柘植保育園跡地利活用計画(最終案)』において、「伊賀市と柘植地域まちづくり協議会とが無償貸付契約を結び、実際の施設使用者が修繕を含めた維持管理の経費を全て負担することが原則となります。施設の利活用の内容が柘植地域の活性化や福祉の充実に寄与するものであることを重視します。」とうたわれている通りの活用をめざして、市当局をはじめ関連団体と協議を進めてまいりました。

また、同『旧柘植保育園跡地利活用計画』に具体的な利活用計画の内容として明記した追加条件をふまえて、柘植地域まちづくり協議会は左記の2団体に使用許可を出しています。

追加条件

『旧柘植保育園跡地利活用計画』5ページ

旧柘植保育園遊戯室を年2回に限り都美恵神社の祭りに使用することや都美恵太鼓が柘植公民館の閉館によって、将来、活動場所・保管場所がなくなった場合は旧柘植保育園遊戯室及び付属する物入れや倉庫を使用すること

使用許可を受けた2団体

NPO法人 杜のカフェいこいこ
NPO法人 ふれあいステーション都美恵

10月31日の式では、伊賀市と柘植地域まちづくり協議会間での貸借契約を、また2団体に向けては、施設の使用許可を出させていただきました。



協議会から使用許可を受けた森下泰成いこいこ代表(手前)と松本大行(右)都美恵代表(奥)



田中満伊賀市健康福祉部次長(左)と岩倉佳子まちづくり協議会副会長(右)の手で、10年間の貸借契約が交わされました。

今日に至る経過(抄)

- 平成27年7月 伊賀市より保育園統合の話があり、保育園保護者向けや住民向けに統合についての説明会が行われる
- 平成28年3月26日 旧柘植保育園閉園式
- 平成28年4月1日 統合された新柘植保育園の開園
- 平成28年5月26日 跡地利活用検討委員会開始
- 平成28年7月16日 跡地利活用に関する住民説明会
- 平成29年1月13日 パブリックコメント受付開始
- 平成29年2月6日 『跡地利活用計画(最終案)』確定
- 平成29年10月31日 貸借契約式・使用許可書授与式

『旧柘植保育園跡地利活用計画(最終案)』・貸借契約書・使用許可書の写しについては、まちづくり協議会事務局に保管しておりますので、必要な方にはご覧いただくことができます。

なお、それぞれの団体より、詳細については案内がされる予定です。
お問い合わせ先(電話番号)

杜のカフェいこいこ (551) 5551
ステーション都美恵 (455) 3052

経営林の見学では、250年生以上の立木管理の様子を(右写真)、丸太市場ではヘリコプターで集材した直径50cmを超える大径木の市を見学しました。(下写真)



伊賀市農林組合、伊賀市農林振興課、伊賀市農林業研修会、野々原、奈良、40名余が、研究、研修、見学した。

林業の故郷、奈良吉野へ
10月26日(木)、台風21号の被害により道路の迂回など課題はありましたが、柘植地域より13名、その他阿波地域や布引地域、さらに伊賀市議会議員や伊賀市林組合、伊賀市農林振興課、伊賀市農林業研修会、野々原、奈良、40名余が、研究、研修、見学した。

生活環境部会

吉野杉の「立木」から「製品」までを一気に見学 いがまち展覧会



子どもたちのために…72,750円

→チャリティバザーの様子



10月28日・29日、いがまち展覧会が西柘植地区市民センター・いがまち公民館・ふるさと会館にて開催されました。

特産品創出事業実行委員会からは「あんまき」ほかを、また女性部会では「手作りのトートバック」などを販売しました。

ふるさと会館会場では柘植地域まちづくり協議会の実施事業内容について写真を多数使って展示しました。

↑ 11月6日(月)、いがまち3地域の保育園代表である壬生野保育園へチャリティバザー売上金を寄附いたしました。

★☆☆事務局だより☆☆★
▼まちづくり活動が住民の皆さんへストレートに伝わる広報誌をめざして、本誌の編集発行に取り組んでいます。
▼伊賀市全域を対象にした研修会などへ参加しますと、私の主観交じりですが、まだまだ住民自治協議会の役割や取り組みがしくみとしてご理解できていないと思われる市民や自治協議会役員の方が多いなあと感じます。
▼その点、柘植地域においては、かなりの理解が進んでいる感じがします。だからこそまち協の事業ひとつひとつが輝いているのだと思います。▼『まちづくりだより』を見れば、「なるほどな」と読み取ってもらえるように、201号発行に際し思っています。

(西田方針)



↑ 活動展示
→ あんまき販売